



2011(平成23)年  
5月8日  
日曜日

発行所  
福島民報社  
福島市大田町13-17  
(郵便番号960-8602)  
郵便振替口座 02110-9-1158  
電話代表 (024) 531-4111  
編集局531-4119 広告局531-4153  
事業局531-4173 販売局531-4178  
© 福島民報社 2011



蔵の町 喜多方の酒  
夢心酒造株式会社  
喜多方市字北町2932

福島民報社  
http://www.minpo.jp/  
読者センター 0120-803344

# 放射線量高い校庭

## 表土と下層入れ替え

### 文科省、各自治体に提言へ

文科省は七日、通常より高い放射線量が検出されている県内の学校の校庭などで、表土を下層の土と入れ替えて線量を低減させる「上下置換工法」の実地検証を行うと発表した。有効性が確認でき次第、同工法の導入を県内自治体に提言する。郡山市などが校庭・園庭の表土を除去し、土を校庭に仮置きしている中で、同省は「土を敷地外に運ばない工法は現実的な手段」としている。ただ、放射性物質を含む土が現場に残ることや費用の問題などを不安視する声も上がっている。(17面に関連記事)

## きょう福島で実地検証

検証は八日に行う。校庭・園庭のそれぞれ敷地外で十センチ四方の範囲で、土の厚さを変えて検証する。結果は数日中に発表する。同省によると、同工法はチェルノブイリ原発事故の土壌改良でも採用されたという。上の土を入れ替えることで遮蔽(しゃへい)効果がとれる。放射線研究機関「日本アイントープ協会」の研究報告では四十センチの置換で九割減、六十センチの置換で百分の一に低下した。同校「が基準値

減されたという。これまで文科省は、活動制限基準を示した関係自治体が対策を要望していた同省は「選

るための対処法を示し、択肢として参考にしてほしい」と説明している。しかし、学校関係者

伊達3施設解除  
渡利中再び制限  
文科省は六、七を上回った。前回の調査で基準値を上回った伊達市の三施設は、六日と七日の連

調査再調査  
伊達3施設解除  
渡利中再び制限  
文科省は六、七を上回った。前回の調査で基準値を上回った伊達市の三施設は、六日と七日の連

## 福島第二原発

### 再開前提とせせず

#### 政府 住民に配慮、廃炉議論も

政府は七日、東日本大震災によって停止中となっている東京電力福島第二原発(富岡、楡葉町)1、4号機の今後の扱いについて、運転再開を前提とせず、検討し、判断する方針を固めた。政府関係者が明らかにした。(2面に関連記事)

## 浜岡停止結論持ち

### 中部電 夏の供給力不足懸念

中部電力は七日、臨時取締役会を開き、政府による浜岡原発の全面停止要請について協議した。受諾に向けて議論を進めたが、結論は八日以降に持ち越した。(2面に関連記事)

中部電力は七日、臨時取締役会を開き、政府による浜岡原発の全面停止要請について協議した。受諾に向けて議論を進めたが、結論は八日以降に持ち越した。(2面に関連記事)



館二七日午後3時30分ごろ

八重洲観光交流館  
月売り10倍